

令和 6(2024)年度 就職先(企業)対象アンケート集計結果

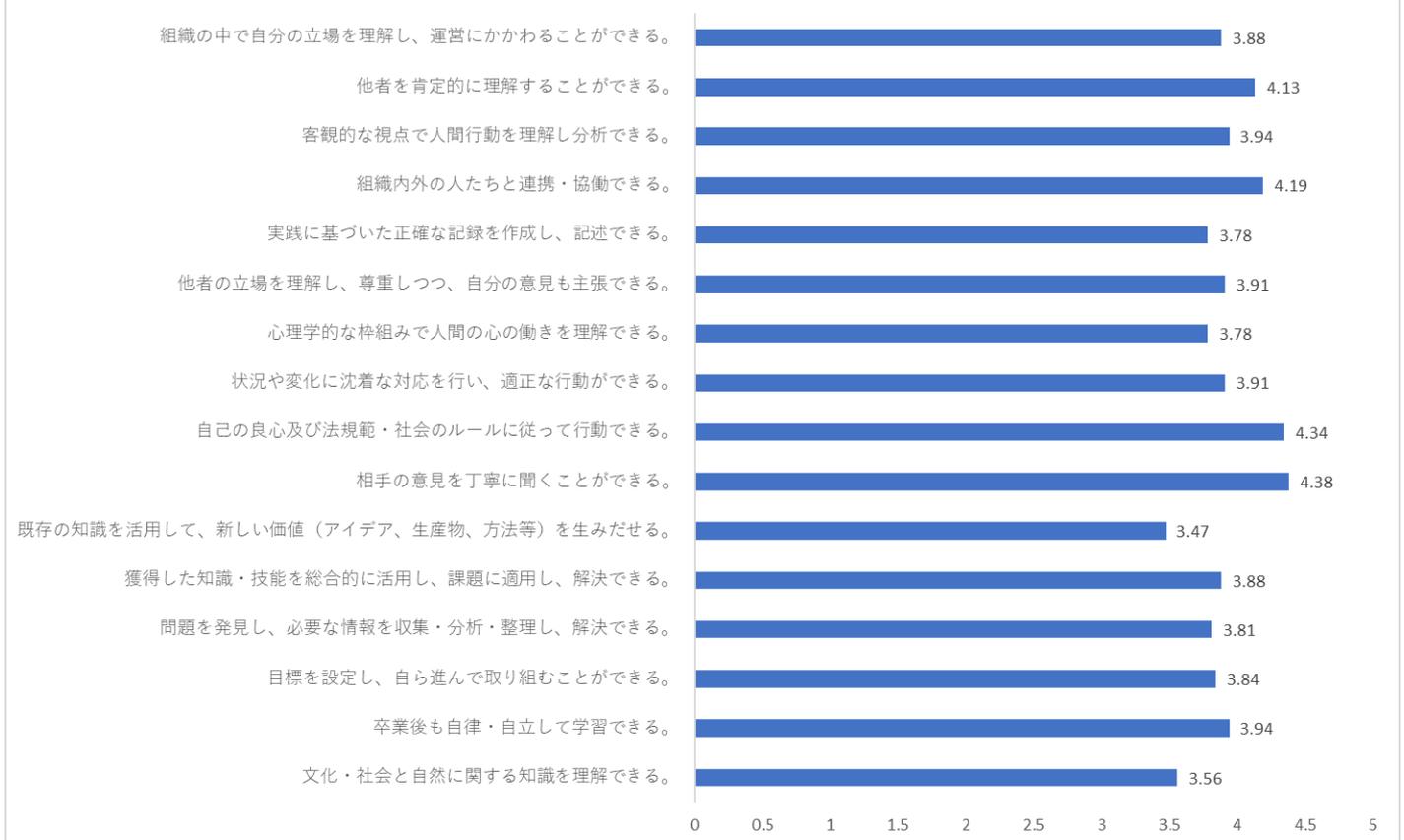
目的：本学の卒業生の就職先企業の担当者が、卒業生の学士力をどのように認識しているかを明らかにする。

方法：学士力の中から 16 項目を選定し、5 段階評定を求める質問フォームを作成した。

これを令和 7 (2025) 年 2～3 月、本学卒業生の就職実績がある企業を対象にオンラインにて回答を依頼したところ 32 社から回答が得られた。

結果および考察：

図1 就職先（企業）から見た本学卒業生の評定平均値（n=32）



全体的に本学卒業生は学士力がおおむね身につけているという評価であった。なかでも高い評価を受けた項目は、「相手の意見を丁寧に聞くことができる。(4.38)」「自己の良心及び法基準・社会のルールに従って行動できる。(4.34)」「組織内外の人たちと連携・協働できる。(4.19)」であった。良心に基づいて行動できることやコンプライアンスは現代社会において重要な事柄である。また、相手の意見を聞く態度については、本学ではこども心理学部のみならずモチベーション行動科学部も心理学系の科目を学んでおり、授業ではグループワークが多く、MIRAI FES.や委員会活動において他者とともになにかを成し遂げる経験なども多い。組織内外の人たちとの協働については主にモチベーション行動科学部で身につけたい学士力として挙げたものであるが、高い評価を得ることができた。